

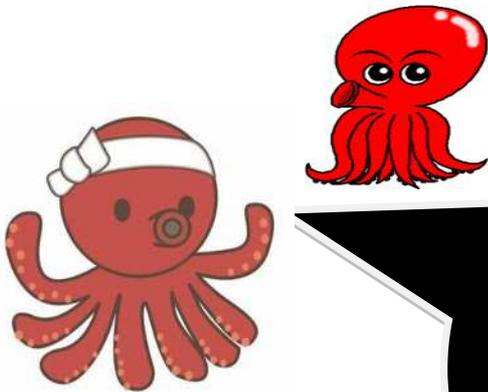


明V連だより

～ボランティアとボランティアをつなぐ広報紙～

116号 令和4年9月
発行：明石市ボランティア連絡会
編集：広報部 編集委員会
明石市真崎1丁目5番13号
明石市立総合福祉センター内
TEL・FAX 078-924-9112

コロナに負けない、全員参加のつながりづくり



いよいよ始まるらしい

なにが

第14回あかしボランティアフェスタ

いつ、いつ どこでやるの

令和4年12月4日(日) 10:00～

総合福祉センター でやるんだって

3年ぶりやな

みんなで行って盛り上げようよ

スローガン

「築こう！ボランティアの輪と和」

明V連加入の全グループが何らかの形で参加。楽しみながら 人を知り、内容を知り、グループ間のつながり強化と今後の在り方に向け、新しいフェスタを計画しています。

● 校区V交流会「挑戦」スタート



二見中校区 V 交流会

7/9	二見中校区	11/12	大久保小校区
9/17	大久保中校区	11/19	和坂小校区
9/24	高丘中校区	11/26	江井島中校区
10/8	魚住中校区	11/29	大蔵中校区
10/8	錦城中校区		
10/12	鳥羽小校区		
10/15	衣川中校区		

我慢の自粛から、with コロナに向けて

コロナ禍での経験と、with コロナに向けた各グループの思いを連載します

明朗会：技術分野



明朗会では、昨年のボランティアフェスタに合わせて「明朗会紹介動画」を制作しました。制作を通して、45年の時間と関わった会員の想い、そしてリスナーの方々あってこそその活動と改めて知る機会になりました。3年ぶりにリスナーの皆様との交流会や朗読おさらい会を計画し準備を始めています。

(佐山 信子 記)

サークル音のさんぽみち：技術分野



視覚に障がいのある方を対象に、広報・情報紙・書籍などを録音したCDの貸し出し、図書館やご自宅での対面朗読をしています。リスナーさんからの「紹介されたお店に行きました」「読み方が上手で話にひき込まれました」などのお声が活動の励みになっています。聴きやすい音訳をめざしてメンバー一同がんばります。

(千葉 扶美子 記)

手話サークル明城会：技術分野



私たちは聴覚障がいの方が安心して安全に暮らせる社会になることをめざして、手話を学んでいます。また、ろうあ協会さんと協力して市民の皆さんに聴覚障がいや手話のことを知っていただく活動をしています。昨年度は小学校5校、地域6か所で手話体験教室を開催しました。

(大貫 たづ子 記)

松が丘いき・いき会：地域分野 明石ブロック



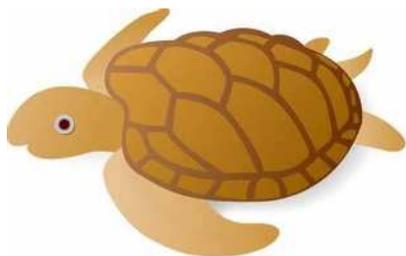
コロナ禍で長い間サロンを中止していましたが、ようやく5月から始められるようになりました。7月には明石警察署生活安全課に「詐欺にあわないために」の講座を依頼し、一方に向かって話が聞ける様に工夫をしました。また、今後はマスクをしたまま静かにできる小物作りやぬり絵、講座等をまじえて行いたいと考えています。(井上 康子 記)

ユーアイグループ：施設・環境分野



障害者支援施設「博由園」で月 2 回、衣服の修理をしている。園の入口で手洗い消毒を念入りにし、検温チェック後作業にかかる。利用者もその家族も高齢化し、面会もままならず、衣服のひどい破れを修理をしている現状だ。利用者の方に喜んでもらえるよう、心を込めて修理をしたい。（橋本 恵美子 記）

ボランティア・アカシウミガメ保護研究会：施設・環境分野



明石の砂浜に訪れるウミガメを守りたくて、保護啓発活動を行っております。特に、平成 17 年の林崎海岸と、平成 20 年の松江海岸での産卵時には、市行政と共に、足跡から産卵巣を発見し、卵が野犬や野鳥などに襲われたり、盗まれたりすることを防ぐために周囲をフェンスで囲みました。でも、平成 26 年 望海浜での産卵から、上陸・産卵は確認されておりません。本年こそは、と心待ちにいたしております。（坂平 高志 記）

いなみ野学園 OB 明石会環境ボランティアグループ：施設・環境分野



いなみ野学園明石地区卒業生で、平成 14 年 5 月から明石海岸及び浜の散歩道を美しくする活動を実施しています。（江井島 屏風ヶ浦・明石原人発見地・アカシゾウ発掘地・藤江三角花壇）今年からボランティア活動に賛同して頂いたユニクロ様を加えて 10 名前後の参加で年間 15 回実施予定です。（西山 澄 記）

絵本の会タッチ：教育分野



第一、第三水曜日ボランティア活動室で、布の絵本やおもちゃの制作活動や、子育てグループ等への貸し出しをおこなっています。パピオスあかしで「来てみて遊んで！」を開催し、いろいろな方に布で作ったおもちゃ等を楽しんでもらっています。また「布で作る音の出るおもちゃ」の講習会も開催しています。（砂川 美和子 記）

託児ボランティアコアラ：教育分野



私たちは資格や子育て経験の有無を問わず、とにかく「子どもが大好き」なメンバーの集まりです。託児をするというよりも、一緒に楽しく遊ぶことをモットーにしています。With コロナの時代、まずは自分たちの体調管理に気をつけて、定例会では情報交換することを大切にして、依頼活動を元気に楽しく続けています。（坂口 せつ代 記）

ボランティアはなぞの：地域分野 西明石ブロック



地域支え合いの家「西明石サポーターズファミリー」を拠点に子どもから高齢者、障がい者まで誰もがあたたかいまちを目指し、地域と共に活動の輪をひろげています。コロナ禍でも命塾・健康介護のひろば・あたたか訪問・子ども食堂・1.17 未来に継ぐ志(キャンドルイベント)などを通してつながりがパッチワークのように重なるよう願っています。(松本 茂子 記)

出の上ふじの会：地域分野 西明石ブロック



グループの発足が 1992 年、地域のケアサロンから活動を始めた。50 年前に開発された地域でみんな若かった。しかし 32 年たった今では超高齢者、公民館までの坂道に行くのが困難になった。今年度、自宅を集会所として活動を始めた。認知症予防のマージャンを「80の手習い」で覚えることにした。みんな楽しく張り切って「100 まで元気に」と。(田中 千恵子 記)

谷八木友愛：地域分野 大久保ブロック



地域の助け合いから始まった活動は、月 1 回のサロンは喫茶に容かたちを変え、接待はペットボトル 1 本のみ。参加される皆さんより「ここに来るだけで、ほっとして楽しい」との嬉しい声をいただいています。他に独居高齢者への友愛訪問、クリスマス時には我々の手作り作品とカイロ、チョコレートにメッセージを添えてお届けしています。(井上 博子 記)

二見みのりの会：地域分野 魚住・二見ブロック



明石医療センター看護専門学校の実習生を 3 回受け入れました。実習生の方より「サロンにきて何が楽しいですか？」の質問に、「みんなと会い集うことが一番うれしい」。また、高齢者の方から「入院していた時、実習の学生さんに優しい声をかけられ淋しさから救われた」など沢山の思いを語り交流を楽しみました。最後に看護実習を乗り切り立派な看護師になってくださいと拍手でエールを送りました。(山本 洋子 記)

サークルエーゼン：施設・環境分野



毎年 12 月 31 日に一人暮らしの高齢者、障がい者の皆さんに大晦日の気分を味わっていただく目的と安否確認を兼ねて、明石市東部地域で年越しそば配布事業を続けております。大晦日当日は、西明石町公民館に有志のボランティアが集まり、配布先の民生委員をはじめ、地域の皆さんにお手伝いいただいてこの事業が実施できていることに感謝しております。(藤原 祥二 記)

邦楽演奏奉仕サークルカルテット“夢”：文化・健康分野



2003年よりボランティア活動を展開しています。コロナ禍で令和の2年間の活動は、ディサービス等よりの依頼、予定イベントはすべて中止で停止状態でした。コロナ禍での規制解除のつかの間の活動であった明石公園観月会は、多数のご来場をいただいていたの開催となりました。活動を再開していますので、皆様からのご依頼をお待ちしています。（横山 稔 記）

ふるさと漫歩：文化・健康分野



ふるさと漫歩は、明石市立文化博物館で毎年11月の前後に開催される「発掘された明石の歴史展」の会場運営の補助をしています。来場者に会場案内や目録を配布しています。コロナ禍ではマスクは勿論のこと、手指の消毒の徹底をはかっています。また、昨年3月には二見町での宅地開発に伴う発掘調査の見学会もしました。（神田 晋治 記）

朝霧音頭普及振興会：文化・健康分野



従来なら、施設訪問・各地区の盆踊りに招待されていましたが、コロナ禍で要請が減りました。そこで、舞台出演や地域住民、子どもたちに踊りの指導を積極的に参加、また、希望者に着付教室ボランティア、他のボランティアグループと交流などを考えています。是非、踊りのボランティアに興味をお持ちの方の入会をお願いします。（倉谷 幸子 記）

明石きらきらマジッククラブ：文化・健康分野



コロナ禍で出演機会がめっきり減少しましたが、久しぶりに保育園、幼稚園と2回出演いたしました。小さな子どもたちの「わあっ! きゃー!」という声を聞き、大きなエネルギーをいただきました。少しずつ出演依頼も増えています。月一例会ではトリックアイデア、演技上での意見交換を行い、少しでも向上するよう努力しています。

（早川 忠夫 記）

なぎさ会：文化・健康分野



コロナ禍で本来の活動ができず、会員で折り紙を手作りし、季節毎に、高齢者施設へ巡回訪問という形でお届けしています。7月23日、3年ぶりにふれあいプラザあかし西の“わくわくサマーフェスタ”で、折り紙コーナーを開催させていただきました。当日は多くの方が来てくださり、皆さんに喜んでいただきました。

（朝比奈 冴子 記）

明石市ボランティアセンターだより

レクリエーション用具が新しく増えました♪

ふれあいプラザあかし西ボランティア活動室に新しくレク用具の「ボール・ボードゲーム GG」が増えました(*^-*)サロンや各種団体での交流を深めるのに役立つ間違いなしです!!レクリエーション用具のご相談はお気軽に下記お問合せ先へご相談ください☺

●レク用具に関して：明石市社会福祉協議会窓口、あかし西ボランティア活動室にてレクリエーション用具の貸出を受け付けております。
ふれあいプラザあかし西ボランティア活動室：(078) 945-0289



☀️夏休み一日ボランティア体験を開催しました

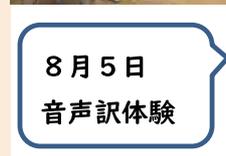
今年度新たな取り組みとして、高校生以上の学生を対象とした、夏休み一日ボランティア体験を開催しました。

前半では、学生さんにとって身近なところで触れる機会の少ない、要約筆記や音声訳体験を実施しました。生活上で不便を感じている人に対して様々なボランティア活動があることを知っていただく機会になりました。

後半では、まちづくりや防災についてのワークショップやゲームを通して自分たちが住む町についてアイデアを出し合いました。SNSの活用など学生さんならではの視点がたくさんありました。参加された学生さんの今後の活躍に期待しています。



8月4日
要約筆記体験



8月5日
音声訳体験



8月20日、27日
まちづくりぼうさい

☆受講生募集中のボランティア養成講座☆

講座名	開催日時・場所	対象者	内容
手話ボランティア養成講座	10/1(土)～10/22(土) 10時～11時30分 ふれあいプラザあかし西3Fボランティア活動室	受講後、ボランティア団体の活動に参加できる、市内在住・在勤の人。	全4回の講座です。 手話での簡単な日常会話を学べるので、初めて手話に触れる人でも学びやすい内容となっています。 申込みは、9/22(木)まで受付中。
点訳ボランティア養成講座	10/5(水)～11/30(水) 10時～12時 明石市立総合福祉センター	受講後、ボランティア団体の活動に参加できる、市内在住・在勤の人。	全8回の講座です。 点字の基礎知識を学び、実際に点訳の体験もできます。初心者向けの講座となっています。 申込みは、9/28(水)まで受付中。

【申込み・問合せ】明石市社会福祉協議会 地域支援課 地域福祉係(明石市ボランティアセンター)

明石市貴崎1丁目5番13号 明石市立総合福祉センター内 (業務時間) ※土日祝、年末年始除く
電話:078(924)9105 FAX:078(924)9109 8:55～17:40

【編集後記】

全グループに原稿をお願いして連載で記事掲載をしていますが、各グループともwithコロナで工夫された活動を継続されており、編集作業の中で大変心強く思っています。
12月4日(日)に予定されている第14回あかしボランティアフェスタでは、活発にグループ間の交流ができることを願っています。

広報部一同